えふえむ草津新春番組

「新春インタビュー橋川市長に聞く」

インタビュー：橋川　渉　草津市長

聞き手：えふえむ草津パーソナリティ＆ディレクター

　中嶌裕恵（なかじま　ひろえ）

放送：1月1日（祝）9:00～、17:00～

中嶌：

「新春インタビュー草津市長に聞く」

新年あけましておめでとうございます。パーソナリティ＆ディレクターの中嶌裕恵です。２０２１年の輝かしい年が幕を明けました。ご家族お揃いで穏やかなお正月を過ごされている事とお喜び申し上げます。この時間は新春にあたり草津市長橋川渉さんにお話を伺ってまいります。

橋川市長、明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

**市長：**

**明けましておめでとうございます。**

**どうぞ、よろしくお願いいたします。**

中嶌：

　はじめに、市民（リスナー）の皆様に新年のご挨拶をお願いします。

　橋川市長お願いいたします。

**市長：**

**皆様、新年明けましておめでとうございます。**

**新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。**

**新型コロナウイルス感染症が一日でも早く終息することを願いますとともに、本年が皆様にとりまして、健やかで希望に満ちた１年となりますことを心から御祈念申し上げます。**

中嶌：

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの発生で世界中が翻弄された年でした。新年を迎えても、まだまだ油断は出来ない状況です。

市長、１年を振り返っていかがでしたか？

**市長：**

**まさに、新型コロナウイルス感染症への対応に追われた１年でした。**

**２月の市長選挙で再選させていただき、３月から新しい任期をスタートさせていただきましたが、３月から国内で新型コロナウイルス感染症の感染が広がり、小中学校が臨時休校となりましたし、４月には全国に緊急事態宣言が出されました。**

**５月からは、国の特別定額給付金などの経済対策に加えて、市独自に上下水道料金の免除、ひとり親家庭・就学援助費受給者への支援、市内飲食店応援チケット事業の実施、家賃支援給付金の支給などの支援策にも今日まで取り組んでまいりました。**

**１１月頃からは、東京や大阪、北海道などを中心に第３波が到来し、滋賀県においても連日感染者が確認され、まだまだ予断を許さない状況でございます。**

**今後も感染防止対策と社会経済対策に全力で取り組んでまいりますので、皆様には感染拡大防止のため、感染しない、感染させない行動をお願い申し上げます。**

中嶌：

草津市でも、残念なことに感染者が出てしまいました。

また、コロナ感染拡大防止のため、学校が休校になったり、働く人たちもリモートワークを余儀なくされたりと生活自体が非日常になりましたね。

**市長：**

**新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでとは違った生活になりました。**

**子どもたちには、学校が休校になるだけでなく、修学旅行や文化祭などの学校行事が中止や変更となり、マスクを着用するなど、これまでとは異なる学校生活となり、子どもたちに与えた影響は大変大きいものがありました。**

**しかしながら、本市では、１０年前から従来の黒板、ノート、鉛筆といった学習スタイルを大切にしつつ、ＩＣＴを活用したハイブリッド型の授業を推進しており、この１２月には市内全ての小中学校において、１人１台のタブレット・パソコンの環境も整えましたので、このコロナ禍をピンチではなくチャンスと捉え、コロナ禍においても、子どもたちの学習の充実を図っていきたいと考えております。**

**また、観光業や飲食業を中心に非常に厳しい１年となりましたし、在宅勤務やリモートワークなど、働き方にも大きな変化があったと思います。**

**市といたしまして、テレワーク応援制度の創設などもさせていただきましたが、今後も継続して支援してまいりたいと考えております。**

中嶌：

　草津市も昨年は密をさけるため、春の草津宿場まつりをはじめ、秋のまちあかりイベントなど、大きなイベントが中止になりましたし、地域のスポーツ大会や文化祭等が軒並み中止になり、とても残念でしたね。

**市長：**

**宿場まつりは、これまで５１回開催し、例年は約８万人の方に来場いただくなど本市最大のお祭りとして４月下旬に開催しておりましたが、感染防止対策を講じることが難しく、密を避けることが困難であることから実行委員会において中止の判断をされたものです。また、街あかりやみなくさまつりも中止となりました。**

**各地域において開催いただいているふれあい祭りや運動会などの行事の多くも中止されており、地域のイベントはコミュニティの醸成に大きく寄与いただいておりましたので、非常に残念でございました。しかしながら、コロナ禍においても感染防止対策を講じながらオンラインで開催するなど、時代に沿ったイベントを開催いただいている地域もあり、地域の皆様の工夫による様々な取り組みに感謝しています。**

中嶌：

　行政運営にも数々の支障があったことと思います。

　これ以上感染者を増やさないためにも、新しい生活様式の徹底が求められています。

　市民の皆さんに気を付けていただきたいことはございますか。

**市長：**

**新型コロナウイルス感染症につきましては、依然として猛威を振るっており、まだまだ予断を許さない状況です。**

**新しい生活様式として、三密の回避やマスクの着用、手洗いや消毒など、基本的な感染防止対策を改めて徹底していただきたいと思います。また、滋賀県が示されている「コロナとのつきあい方滋賀プラン」に基づき、それぞれのステージに沿った生活を心がけていただきたいと思います。**

**それと、感染者や医療従事者とその家族に対する誹謗中傷は絶対にあってはなりません。新型コロナウイルス感染症は、誰がどこで感染してもおかしくなく、感染者の特定や不正確な情報を拡散すること、誹謗中傷は厳に慎んでいただきますようお願いいたします。**

中嶌：

　当局でも感染拡大を防ぐため、緊急事態宣言中には生放送時間の短縮をはじめ、スタジオの換気、マイクの消毒、密を防ぐためゲストの人数の対応を制限したり、ＳＮＳを利用したリモート収録を行ったりと、あらゆることに工夫しながら放送しています。引き続き、安全に放送出来るように努めていきます。

さて、話は変わりますが、橋川市長は４期目の市長就任からまもなく１年が経過します。昨年は思うように市政運営ができなかった部分も多くあったことと思いますが、今年はどのような事を柱にして運営していこうとお考えでしょうか？

**市長：**

**今年も、ウィズコロナの１年になることと思いますが、新型コロナウイルス感染症に対する市民の皆様への支援を継続し、各種施策に取り組んでまいりたいと考えております。**

**また、令和３年度は草津の未来を計画する第６次草津市総合計画の初年度にあたります。この第６次草津市総合計画を柱として、各種施策に取り組み、人口減少・超高齢社会、そして生産年齢人口の減少に伴う税収の減少や社会保障関係経費の増加、地域コミュニティの希薄化など、直面する諸課題に対応するとともに、本市の魅力をさらに高め、住む人も訪れる人も誰もが健やかに幸せにくらせるまち「健幸都市づくり」に取り組んでまいります。**

中嶌：

　今後も御尽力いただきたいと思います。

　さて、暗いお話が多くなってしましたが、楽しいお話に参りましょう。

　草津市では今年、新しい施設がオープンしますね。

**市長：**

**今年は、草津駅前に中心市街地の拠点施設となる市民総合交流センターを、５月にオープンする予定をしております。この施設は、草津商工会議所や社会福祉協議会、コミュニティ事業団など、多様な公共的団体に入居いただくとともに、男女共同参画センターや人権センターなどの公共施設を集約し、子育て広場などを配置した市民の皆様が親しみやすく利用しやすい公民の複合施設として、整備を進めてまいりました。また、愛称を、「キラリエ草津」に決定しました。**

中嶌：

　地域の人たちが心待ちにしている施設「キラリエ草津」。この新しい拠点の点が線に、線が面になるよう広がりを期待したいですね。

**市長：**

**「キラリエ草津」という愛称のとおり、人がキラリと輝くエリアとなり、輝くひとをつなぐ場となるように願っております。**

**草津のまちが活気に溢れ、さらに魅力のあるまちになりますよう取り組んでまいりたいと考えております。**

中嶌：

　さて、(株)えふえむ草津も草津市様のご支援をいただき、おかげさまをもちまして、開局して３月で１２年を迎えようとしております。

　災害時の情報伝達手段を担うべく、役割を担わせていただいております。昨年は大きな自然災害はありませんでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための啓発活動や新たな生活様式のご提案などを放送してきました。市長は、防災や災害情報の伝達手段として当局の役割をどのように感じていただいていますか？ご意見をお聞かせください。

**市長：**

**えふえむ草津の皆様とは、平成２１年３月に「災害時等における放送の実施に関する協定」を締結させていただいておりますが、災害時だけでなく、平時からラジオを通して市民の皆様に防災情報などをお届けいただいております。**

**市民の皆様に普段から親しまれているコミュニティラジオを活用して、災害情報や防災情報を伝達していただけますことは、市といたしましても非常に心強く感じているところでございます。**

**特に、平時から防災情報などを伝達いただけることは非常に重要なことでございまして、災害はいつ何時発生するかわからず、常日頃から災害を意識し、防災について考えることが重要です。**

**また、災害時に緊急放送として市民の皆様に情報をお伝えする「屋外スピーカー」があるのですが、雨や風が強い時は聞こえにくいという声もございます。えふえむ草津のラジオを通じて屋外スピーカーから流れている情報をラジオでも聞けるという体制をとっていただいており、本市の情報伝達体制の整備や防災力向上に、えふえむ草津様の御協力は、必要不可欠なものであると考えております。**

中嶌：

地震災害など自然災害を含め、災害が今も頻繁に起こっております。災害が発生した際には市民への情報伝達の役割を発揮できるように普段から市民ボランティアで協力しあいながら、楽しい放送を一人でも多く聴取いただけるよう努めております。

今後ともご支援をよろしくお願いします。

橋川市長は、今年プライベートで何か楽しみにしていることはありますか？

**市長：**

**私は、家庭菜園で野菜を育てているのですが、ほうれん草や大根などが収穫できる時期になっていますので、収穫して食べるのを非常に楽しみにしております。また、今年はこれまで育てたことのない新たな野菜にもチャレンジしようと思っております。**

中嶌：

　（感想）

　今後も、新年早々から大変お忙しくなろうかと存じます。

　どうぞお体を大切にしてご公務を励んでいただきたいと存じます。

　最後になりましたが、抱負と市民の皆様にメッセージをお願いいたします。

**市長：**

**市民の皆様におかれましては、昨年は、新型コロナウイルス感染症により、大変な一年であったことと思います。**

**現在も感染症の猛威は過ぎ去っておりませんが、これからは感染症と共存し、ウィズコロナの時代に沿った生活をしていかなければなりません。**

**市といたしましても、感染防止対策を講じるとともに、市民の皆様が安全に安心して暮らせることができるよう各種施策に全力で取り組んでまいります。**

**また、令和３年度から新たに第６次草津市総合計画がスタートいたします。本市の魅力をさらに高め、住む人も訪れる人も誰もが健やかに幸せにくらせるまち「健幸都市づくり」にさらに取り組み、１０年先、２０年先、３０年先の草津の未来を見据えながら、「ずっとずっと住み続けたいまち草津」の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、皆様のより一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。**